

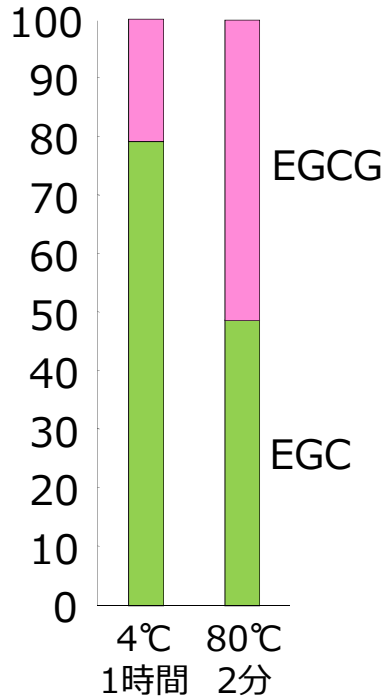
水出し緑茶の飲用は正常な免疫機能をサポートする可能性があります

- ・ 冷蔵庫内で水出し緑茶を作ると**エピガロカテキン(EGC)**が優位なお茶になります。
- ・ エピガロカテキンは**免疫細胞(マクロファージ)**が異物を食べる働きを活性化します。

冷水で出すお茶とお湯で出すお茶は何が違うの？



緑茶浸出液中に占める
EGCGとEGCの割合



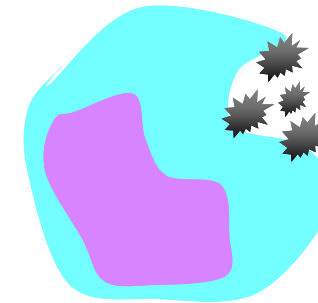
★水出し緑茶にすると緑茶浸出液中に占めるEGCG(エピガロカテキンガレート)の割合が減ります。

★EGCGは茶カテキンの主要な機能性成分ですが、免疫機能に関してはEGCの働きを邪魔してしまいます。

↓
EGCGが減るので、EGCが働きやすくなります。

★水出し緑茶にしても、うま味成分は減りません。苦渋味の元であるEGCGやカフェインが減るため、うま味をより感じやすいお茶になります。

異物を食べる免疫細胞
(マクロファージなど)



異物を食べる

EGCが作用すると
より活発になる

異物排除 + 情報収集

他の免疫細胞や周辺組織に
情報提示

細胞・組織
生体防御ネットワーク

☎ 詳しい情報を知りたい、という方はお気軽にご連絡ください。

(国研)農研機構 果樹茶業研究部門 企画管理部 企画連携室

TEL: 029-838-6453 FAX: 029-838-6437 URL: <https://pursue.dc.affrc.go.jp/form/fm/naro001/tech>